

保坂修司 日本エネルギー経済研究所研究顧問
経歴・業績リスト

中東研究センター（編）

<経歴>

- 1984年3月 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程（東洋史）修了
1989年 在クウェート日本国大使館専門調査員
1991年 在サウジアラビア日本国大使館専門調査員
1992年 中東調査会研究員
2001年 日本学術振興会カイロ研究連絡センター長
2002年 早稲田大学客員助教授
2005年4月 （財）日本エネルギー経済研究所 入所 中東研究センター研究主幹
2006年 近畿大学教授
2010年 早稲田大学客員教授
2010年4月 （財）日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究理事・副センター長
2019年11月 （一財）日本エネルギー経済研究所中東研究センター長（理事）
2024年6月 （一財）日本エネルギー経済研究所 研究顧問

<所属学会>

- ◇ 日本中東学会
役職等：日本中東学会年報（AJAMES）編集委員、日本中東学会理事（第15期 [2013-14年度] ～第17期 [2017-18年度]）、日本中東学会会長（第19期～第20期 [2021-24年度]）
◇ 日本イスラム協会

<業績リスト>

- ◇ 書籍（単著）
- 『乞食とイスラーム』筑摩書房, 1994年.
 - 『正体：オサマ・ビンラディンの半生と聖戦』朝日新聞社, 2001年.
 - 『サウジアラビア—変りゆく石油王国』岩波新書, 2005年.
 - 『新版 オサマ・ビンラディンの生涯と聖戦』朝日新聞出版, 2011年.
 - 『イラク戦争と変貌する中東世界』山川出版社, 2012年.
 - 『サイバー・イスラーム—越境する公共圏』山川出版社, 2014年.
 - 『ジハード主義—アルカイダからイスラーム国へ』岩波書店, 2017年.
- ◇ 書籍（編著）

8. 『湾岸諸国と高度情報化システム』中東調査会, 1997年.
9. 『アフガニスタンは今どうなっているのか』京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究
研究科附属イスラーム地域研究センター(KIAS), 2010年.

◇ **学術論文（雑誌論文・書籍・報告書等所収）**

10. 「怪鳥現わる」『アジア・アフリカ言語文化研究所通信』55号, pp.12-19.
11. 「千夜一夜物語翻訳事始」『日本中東学会年報』1号, 1986年, pp.358-383.
12. 「人面馬身の謎」『東西交渉』26号, 1988年, pp.25-34
13. 「勧善懲悪委員会の概要」『中東研究』368号, 中東調査会, 1992年, pp.26-33.
14. 「クウェイト1992年国民議会選挙結果：分析と今後の展開」『中東研究』372号, 中東
調査会, 1992年, pp.4-17.
15. 「アブームーサー島と大小トンブ島：湾岸における力の空白(データファイル)」『中東
研究』373号, 中東調査会, 1992年, pp.14-24.
16. 「ロンドンのアラビア：ロンドンの中東書籍事情(データファイル)」『中東研究』377号,
中東調査会, 1993年, pp.13-19.
17. 「イエメンの政治危機」『中東研究』386号, 中東調査会, 1993年, pp.6-12.
18. 「湾岸戦争後のアラビア半島情勢」『アラビア半島における国境問題の研究』中東調査
会, 1993年, pp.1-9
19. 「湾岸戦争とサウジアラビアの宗教勢力」『イスラム復興主義運動の諸組織と実態』日
本国際問題研究所, 1993年, pp.4-5,41-48.
20. 「湾岸諸国の環境政策：海洋汚染対策を中心として」『ペルシャ湾の研究(1)』中東調査
会, 1994年, pp.60-84.
21. 「コンピュータで中東を読む：(1)」『中東研究』399号, 中東調査会, 1995年, pp.28-38.
22. 「コンピュータで中東を読む その2：インターネット篇」『中東研究』401号, 中東調
査会, 1995年, pp.27-39.
23. 「クウェートのシーア派(特集：湾岸地域の社会と経済)」『現代の中東』18号, アジア経
済研究所, 1995年, pp.18-39.
24. 「カタールで政変：サーニー家のお家騒動」『中東研究』404号, 中東調査会, 1995年,
pp.2-5.
25. 「イラク大統領の女婿、フセイン・カーメルらが亡命」『中東研究』406号, 中東調査会,
1995年, pp.2-9.
26. 「信仰・部族・近代化：「聖地の守護者」サウジアラビアのジレンマ」小杉泰(編)『イ
スラームに何がおきているかー現代世界とイスラーム復興』平凡社, pp.138-156.
27. 「クウェートの市民社会と経済：分配国家からふつうの国へ」福田安志(編)『GCC諸
国の石油と経済開発ー石油経済の変化のなかで』アジア経済研究所, 1996年, pp.235-
265.
28. 「サウジアラビア東部州における爆弾テロ」『中東研究』416号, 中東調査会, 1996年,

- pp.2-12.
29. “The Internet and Middle East Studies,” *JIME Review* 10: 36, The Japanese Institute of Middle Eastern Economies Cairo Liaison Office, pp.93-116.
 30. 「湾岸研究とインターネット」『現代の中東』22号, アジア経済研究所, 1997年, pp.63-87.
 31. 「鳴らなかった雷鳴：イラク危機分析」『中東研究』436号, 中東調査会, 1998年, pp.2-32.
 32. 「サウジアラビアの王位継承問題」『中東情勢報告－GCC諸国動向調査会レポート』エネルギー総合推進委員会, pp.117-146.
 33. 「クウェートの民主主義：国民議会の展開」小杉泰(総編集)『中東・イスラーム諸国の国家体制と民主化』日本国際問題研究所, 1998, pp.48-76.
 34. 「オサーマ・ビン・ラーデンの聖戦」世界秩序研究会(編)『世紀末の中東・イスラーム世界－漠然たる不安』世界経済情報サービス(ワイス), 1999年, pp.61-75.
 35. 「クウェートの石油部門改革と外資導入」『国際資源』国際資源問題研究会, 1999年, pp.10-17.
 36. 「アラブ研究と電子情報(学界動向)」『イスラーム世界』53, 日本イスラーム協会, 1999年, pp.117-131.
 37. 「オサーマ・ビン・ラーデンの思想」世界秩序研究会(編)『中東・イスラーム世界の新しい政治風景』世界経済情報サービス(ワイス), 2000年, pp.63-78.
 38. 「サウジアラビアを中心とするアラビア半島情勢」世界秩序研究会(編)『中東情勢－湾岸戦争後の終わりの始まり』世界経済情報サービス(ワイス), 2000年, pp.65-81.
 39. 「イスラーム地域研究 デジタル情報化時代の研究作法」(赤堀雅幸・小杉泰・林佳世子他と共著)『地域研究スペクトラム』京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科, 2000年, pp.2-18.
 40. 「デジタル・ジハードの可能性」小杉泰[ほか](編)『21世紀の国際社会とイスラーム世界』日本国際問題研究所, 2000年, pp.6,74-95.
 41. 「イラン国会選挙とペルシア湾情勢」『海外事情』48(4), 拓殖大学海外事情研究所, 2000年, pp.76-91.
 42. 「サウジアラビアの王位継承問題」『現代中東研究』4(4), 中東経済研究所, 2001年, pp.1-28.
 43. 「クウェート国」『中東基礎資料調査－主要中東諸国の憲法(上)』日本国際問題研究所, 2001年, pp. 199-254.
 44. 「サウディアラビアの王権：祭祀王ファハド」小杉泰(主査)『サウディ・アラビアの総合的研究』日本国際問題研究所, 2001年, pp.11,125-141.
 45. 「オサーマ・ビン・ラーデン研究序説：テキスト分析に向けて」『現代の中東』33号, アジア経済研究所, 2002年, pp.73-94.
 46. 「自爆テロとイスラーム(特集：パレスチナ：愛と憎しみの起源)」『大航海』44号, 新書館, 2002年, pp.64-73.

47. 「サウジ 模索するサウジアラビア(特集:「ブッシュの戦争」は止められるか)」『世界』709号, 岩波書店, 2003年, pp.130-135.
48. 「サウジアラビアの政治経済社会動向」『平成14年度中東産油国投資促進事業投資促進ビジョン作成事業報告書』中東協力センター, 2003年, pp.9-40.
49. 「サウジアラビアにおける民主化」『ブッシュ政権の「中東の民主化」政策と中東主要国の現状』国際開発センター, 2003年, pp.18-41.
50. 「サウジアラビアの明日(中東世界の衝撃)」『現代思想』31巻5号, 青土社, 2003年, pp.102-107.
51. 「オサーマ・ビン・ラーデン主義は存在するか(イスラーム—アメリカ問題)」公共哲学ネットワーク(編)『地球的平和の公共哲学—「反テロ」世界戦争に抗して』東京大学出版会, 2003年, pp.43-66.
52. 「イラク戦争と湾岸諸国」『日本の対中東戦略のあり方に関する調査研究報告』経済産業研究所/中東経済研究所, 2003年, pp.80-89.
53. 「イラク戦争とサウジアラビア(特集:イラク戦争):(イラク戦争をめぐって)」『中東研究』中東調査会, 2004年, pp.55-60.
54. 「カーイダの系譜」『イスラム過激派の系譜』中東調査会, 2004年, pp.17-40.
55. 「ユーフス・アイエリーと『イラクとアラビア半島の将来』」『イスラム過激派の系譜』中東調査会, 2004年, pp.101-106.
56. 「クウェートの民主主義」『GCC 諸国と民主主義』日本国際問題研究所, 2004年, pp.41-52.
57. 「揺れ動く石油大国: サウジアラビアの改革と対テロ戦争」『世界』724号, 岩波書店, 2004年, pp.232-240.
58. 「イラク戦争と湾岸諸国」『イラク戦争時における湾岸産油国の石油政策調査』中東経済研究所, 2004年, pp.27-54.
59. 「サウジアラビアの改革(特集:サウジアラビア)」『中東研究』484号, 中東調査会, 2004年, pp.60-98.
60. 「イラク戦争とサウジアラビア(イラク戦争と周辺国)」山内昌之, 大野元裕(編)『イラク戦争データブック—大量破壊兵器査察から主権移譲まで』明石書店, 2004年, pp.88-92.
61. 「先鋭化するサウジのテロの背景: 過激派組織弱体化の反映か?」『石油・天然ガスレビュー』38巻1号, 石油天然ガス・金属鉱物資源機構石油天然ガス調査グループ, pp.79-82.
62. 「サウジアラビアのカーイダ」私市正年(編)『現代イスラームをめぐるテロリズムの背景と現状』上智大学21世紀COEプログラム「地域立脚型グローバル・スタディーズの構築」事務局, 2005年, pp.[89]-98.
63. 「乗り遅れた聖戦士: ザルカーウィー神話の解説」『世界』736号, 岩波書店, 2005年, pp.101-112.

64. 「デジタル・ジハードの現在」『イスラム科学研究』1号, 早稲田大学イスラム科学研究所, 2005年, pp.77-94.
65. 「クウェートの民主主義：発展と課題」日本国際問題研究所(編)『湾岸アラブと民主主義ーイラク戦争後の眺望』日本評論社, 2005年, pp.91-114.
66. 「アル・カーイダのイデオロギー：最近の声明を中心に」『中東諸国におけるイスラム主義の思想と活動ーイスラムと部族』日本国際問題研究所, 2006年, pp.139-160.
67. 「中東市民社会の動向：電腦イスラーム論」『中東諸国における政治情勢及び経済等の現状と今後の展望』みずほ情報総研, 2006年, pp.58-71.
68. 「変容するサウジアラビア社会：テロリズム、スーフイズム、シーア派、シネマ(連載講座：中東の政治変動を読む(3))」『国際問題』552号, 日本国際問題研究所, 2006年, pp.60-67.
69. 「なぜアメリカ人を殺さねばならないのか---一九九八年のアル・カーイダのファトワー分析(特集 国家論)」『述：近畿大学国際人文科学研究所紀要』1号, 明石書店, 2007年, pp.76-91.
70. 「中東情勢分析 文化紹介 日本の亜刺比亜人：1930年代の日本とアラビア半島」『中東協力センターニュース』32巻3号, 中東協力センター, 2007年, pp.86-94.
71. 「アラブ社会における日本アニメ・マンガの影響(大衆文化研究の新たな潮流)」Ikeuchi Satoshi[編]『カイロ・シンポジウム：International Symposium in Egypt 2006』国際日本文化研究センター, 2007年, pp.131-145.
72. 「中東情勢分析 文化紹介 アラビアの日本人：日本のムジャーヒディーン」『中東協力センターニュース』32巻5号, 中東協力センター, 2008年, pp.43-51.
73. 「メディアのアラビア語(イスラームの言語と文化)」佐藤次高, 岡田恵美子(編著); 早稲田大学国際言語文化研究所(編)『イスラーム世界のことばと文化』成文堂, 2008年, pp.82-105.
74. 「真珠の海：石油以前のペルシア湾」『イスラム科学研究』4号, 早稲田大学イスラム科学研究所, 2008年, pp.1-40.
75. 「中東情勢分析 近代世界システムにおける日本と中東：あるいはアデンの茶の湯と最初の日本人ムスリムに関する若干の考察」『中東協力センターニュース』33巻3号, 中東協力センター, 2008年, pp.42-51.
76. 「夢、救世主、カリフ：ジュヘイマーン・オテイビーからアブームスアブ・ザルカーウィーへ(セッション6 サウジ・メッカ事件 第1報告)」東京外国語大学[編]『研究シンポジウム 30年の後ーイラン革命、アフガニスタン侵攻、中東和平……世界を揺るがした1979年の中東と世界を振り返る』東京外国語大学, 2009年, pp.137-142, 222-229.
77. 「葉ミイラ考：日本エジプト交流秘史」『イスラム科学研究』5号, 早稲田大学イスラム科学研究所, 2009年, pp.51-64.
78. 「真珠の海(2)：石油以前のペルシア湾」『イスラム科学研究』6号, 早稲田大学イスラム科学研究所, 2010年, pp.1-31.

79. 「アフガニスタンにおけるアルカイダの現状(テロかジハードか)」保坂修司(編)『アフガニスタンは今どうなっているのか』京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センター(KIAS), 2010年, pp.92-113.
80. 「記憶の名残：湾岸危機と湾岸戦争の現場から(特集：中東、変化の軌跡：湾岸危機から20年、イラン・イラク戦争勃発から30年)」『中東研究』508号, 中東調査会, 2010年, pp.38-46.
81. 「ジハード：仮想空間上のアルカイダとターリバーン(警察政策フォーラム APEC 首脳会議の安全な開催に向けて(横浜) グローバル化時代の治安対策(京都))」『警察政策研究』15号, 警察大学校警察政策研究センター, 2011年, pp.45-50.
82. 「夢、死、暴力：ジハード主義テロリストのつくりかた(警察政策フォーラム APEC 首脳会議の安全な開催に向けて(横浜) グローバル化時代の治安対策(京都))」『警察政策研究』15号, 警察大学校警察政策研究センター, 2011年, pp.59-65.
83. 「ホルムズ海峡沖日本タンカー襲撃事件に関する一考察」『国際情勢』81号, 国際情勢研究会, 2011, pp.307-325.
84. “Japan and the Gulf: A Historical Perspective of Pre-Oil Relations (Gulf Studies in Japan: New Trend, Perspective, and Approach)” 『イスラーム世界研究』4巻1・2号, 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センター, 2011年, pp.3-24.
85. “Socio-Economic History of Mummies” 『イスラム科学研究』7号, 早稲田大学イスラム科学研究所, 2011年, pp.31-39.
86. 「中東の革命とメディアの関係：インターネット、フェイスブックを中心に(ソーシャルメディアは何を変えるのか)」『新聞研究』719号, 日本新聞協会, 2011年, pp.58-62.
87. 「テロリストは電腦ジハードの夢を見るか(特集：〈9・11〉からアラブ革命へ：没落するアメリカ)」『現代思想』39巻13号, 青土社, 2011年, pp.169-177.
88. “Media Strategies of Radical Jihadist Organizations: A Case Study of Non-Somali Media of al-Shabaab (Special Feature: Media in the Middle East: Latest Issues)” 『イスラーム世界研究』5巻1・2号, 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センター, 2012年, pp.3-25.
89. 「ジャスミン革命に関するメディア言説分析」『国際情勢』82号, 国際情勢研究会, 2012年, pp.203-214.
90. 「ベンアリー最期の日々：アラブの春とメディア(第11回シンポジウム・イスラムとIT：イスラーム世界の中と外)」『イスラム科学研究』8号, 早稲田大学イスラム科学研究所, 2012年, pp.49-66.
91. 「薬ミイラ再考」吉村作治先生古稀記念論文集編集委員会(編)『永遠に生きるー吉村作治先生古稀記念論文集：eternal life』中央公論美術出版, 2013年, pp.487-505.
92. 「シンポジウム発表 バーザフルからヘイサラバサラへ：薬の東西交渉史」『イスラム科学研究』9号, 早稲田大学イスラム科学研究所, 2013年, pp.103-123.
93. 「イナメナス事件再考」『中東動向分析』12巻2号, 日本エネルギー経済研究所中東研

- 究センター, 2013年, pp.1-9.
94. 「クウェート国民議会選挙(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』38巻3号, 中東協力センター, 2013年, pp.44-50.
 95. 「日本と湾岸の石油: バーレーン石油輸入80周年(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』39巻2号, 中東協力センター, 2014年, pp.46-60.
 96. 「石油の歴史: 日本と中東」『イスラム科学研究』10号, 早稲田大学イスラム科学研究所, 2014, pp.19-39.
 97. 「サウジアラビアとイスラーム国(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』39巻4号, 中東協力センター, 2014年, pp.28-39.
 98. 「「イスラーム国」とアルカーイダ: 液状化するサイクス・ピコ体制とカリフ国家の幻影」吉岡明子, 山尾大(編)『「イスラーム国」の脅威とイラク』岩波書店, 2014年, pp.203-245.
 99. 「湾岸諸国の国民国家体制の行方」『グローバル戦略課題としての中東—2030年の見通しと対応』日本国際問題研究所, 2015年, pp. 87-101.
 100. 「アル・カーイダとイスラーム国」『グローバル戦略課題としての中東—2030年の見通しと対応』日本国際問題研究所, 2015年, pp. 103-109.
 101. 「中東のポップ・カルチャー」『グローバル戦略課題としての中東—2030年の見通しと対応』日本国際問題研究所, 2015年, pp. 168-173.
 102. 「イスラーム国日本人質事件(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』39巻6号, 中東協力センター, 2015年, pp.47-60.
 103. 「イスラーム国日本人質事件(特集: イスラムIS事件)」『情況. 第四期: 変革のための総合誌』4巻3号, 情況出版, 2015年, pp.70-87.
 104. 「「六つ巴」のイエメンに絡めとられるサウジアラビア(動揺する中東地域)(FOCUS)」『外交』31号, 外務省, 2015年, pp.124-131.
 105. 「サウジアラビアで皇太子交代(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』40巻3号, 中東協力センター, 2015年, pp.10-20.
 106. 「最近のサウジアラビア治安情勢(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』40巻6号, 中東協力センター, 2015年, pp.24-35.
 107. “Japan-Gulf Economic Relations: A Historical Perspective,” *Asian and Middle Eastern Countries since the End of World War II*, 2015, pp.271-285
 108. 「第二次世界大戦以前の日本・イラク関係史(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』40巻10号, 中東協力センター, 2016年, pp.1-13.
 109. 「クルアーンの日本語訳について(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』41巻3号, 中東協力センター, 2016年, pp.12-22.
 110. 「サウジアラビアの構造改革について(特集 原油安と中東ジオエコノミクスの波動)」『世界経済評論』60巻5号, 世界経済研究協会, 2016年, pp.65-74.
 111. 「湾岸諸国とスポーツ(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』41巻6号,

- 中東協力センター, 2016年, pp.19-28.
112. 「アルカイダからイスラーム国へ：ジハード主義の来し方行く末(特集：9・11から15年：世界はどう変わったか)』『世界』887号, 岩波書店, 2016年, pp.79-87.
113. 「サウジアラビアの2016年治安情勢回顧(中東情勢分析)』『中東協力センターニュース』41巻10号, 中東協力センター, 2017年, pp.1-13.
114. 「ISのイデオロギー(ISをめぐる地政学)』山内昌之(編著)『中東とISの地政学：イスラーム、アメリカ、ロシアから読む21世紀』朝日新聞出版, 2017年, pp.37-57.
115. 「世界の潮 サウジアラビアの脱石油戦略：サルマーン国王訪日の背景』『世界』895号, 岩波書店, 2017年, pp.25-28.
116. 「イブン・サ우드」鈴木董(編)『悪の歴史』西洋編【上】・中東編
117. 「「ジハード主義」とIS後の世界(中東問題再考)』『外交』48号, 外務省, 2018年, pp.123-129.
118. 「湾岸地域における宗派問題の複雑怪奇(中東基礎知識)』『中東協力センターニュース』43巻2号, 中東協力センター, 2018年, pp.23-27.
119. 「サウジアラビアで女性の自動車運転が解禁(中東情勢分析)』『中東協力センターニュース』43巻5号, 中東協力センター, 2018年, pp.9-20.
120. 「報道人、ジャマール・ハーショグジーとは何者だったのか：Interview 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター研究理事 保坂修司(特集 サウジアラビアvsトルコ)』『宗教問題』25号, 白馬社, 2019年, pp.38-47.
121. 「ジハード主義を読む(1)』『治安フォーラム』25巻1号, 立花書房, 2019年, pp.55-63.
122. 「ジハード主義を読む(2)ママのキッチンで爆弾作り』『治安フォーラム』25巻3号, 立花書房, 2019年, pp.60-68.
123. 「湾岸諸国と宗派」酒井啓子(編著)『現代中東の宗派問題：政治対立の「宗派化」と「新冷戦」』晃洋書房, 2019年, pp.175-203.
124. 「ジハード主義を読む(3)米国人皆殺しファトワー』『治安フォーラム』25巻5号, 立花書房, 2019年, pp.47-55.
125. 「ジハード主義を読む(4)自爆か殉教か』『治安フォーラム』25巻7号, 立花書房, 2019年, pp.43-51.
126. 「ジハード主義を読む(5)ISの視点で見るスリランカ・イースター・テロ事件』『治安フォーラム』25巻9号, 立花書房, 2019年, pp.56-64.
127. 「迷走する対イエメン有志連合：イエメン南部移行評議会・UAE・サウジアラビア(中東情勢分析)』『中東協力センターニュース』44巻7号, 中東協力センター, 2019年, pp.1-9.
128. 「ジハード主義を読む(6)ISの地理認識』『治安フォーラム』25巻11号, 立花書房, 2019年, pp.37-45.
129. 「ジハード主義を読む(7)インギマーシーのこと』『治安フォーラム』26巻1号, 立

- 花書房, 2019年, pp.49-57.
130. 「Q&A 日本と中東 「石油後」を見据えた外交戦 (特集 中東は戦争を回避できるか)」『外交』60号, 外務省, 2020年, pp.2, 62-66.
131. 「「石油価格戦争」から OPEC 体制崩壊へ」『Voice』509号, PHP 研究所, 2020年, pp.140-147.
132. 「純粋なイスラームを目指して既存の価値観に挑戦」鈴木董 (編)『侠の歴史』西洋編 上+中東編, 清水書院, 2020年, pp.274-287
133. 「世界の潮 油価が低迷し、コロナ禍であがくサウジアラビア」『世界』934号, 岩波書店, 2020年, pp.10-14.
134. 「日本と中東：石油をめぐる歴史(国境を越えて)」近藤洋平(編)『アラビア半島の歴史・文化・社会』東京大学中東地域研究センタースルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座, 2021年, pp.211-235.
135. 「湾岸産油国の資源経済と国家ビジョン：レンティア国家の石油依存体質脱却」縄田浩志(編著)『現代中東の資源開発と環境配慮：SDGs時代の国家戦略の行方』法律文化社, 2021年, pp.141-165.
136. 「近代日本と資源外交：ミイラ取りから石油まで(歴史の扉：日本と中東の往還)」西尾哲夫, 東長靖(編著)『中東・イスラーム世界への30の扉』ミネルヴァ書房, 2021年, pp.14-24.
137. 「動き出すか、サウジアラビア・イラン関係(中東情勢分析)」『中東協力センターニュース』46巻9号, 中東協力センター, 2021年, pp.10-20.
138. 「中東の呪術、怪異、奇跡—「近代化」の周縁」『史潮』新94号, 2023年12月, pp.71-76

☆ 解説・総説・書評・辞書項目・コラム等

139. 「都市の外部ネットワーク 海域と都市 ペルシア湾」板垣雄三・後藤明(編)『事典イスラームの都市性』亜紀書房, 1992年, pp.232-233.
140. 「生活の場としての都市 都市の社会生活 乞食」板垣雄三・後藤明(編)『事典イスラームの都市性』亜紀書房, 1992年, pp.436-437.
141. 「湾岸地域の現状と近未来<座談会>」(冨塚俊夫・高橋和夫・酒井啓子と共著)『中東研究』中東調査会, 1993年, pp.4-14.
142. 「ゲルギーアーン」金子量重・渡辺兼庸(編)『西アジアを学ぶ300冊：アジア民族文化フォーラム'94西アジア年』, アジア民族造形研究所, 1994年, p.12.
143. 「イスラムの基礎知識・素朴な疑問：イスラムの教え14の疑問：なぜ偶像崇拜がいけないのか?ほか(特集：イスラムの謎)」『歴史読本ワールド』5-3(23), 新人物往来社, 1994年, pp.86-101.
144. 「カタールの宮廷クーデタについて(中東情報)」『天然ガス』38-9(438), 天然ガス鉱業会, 1995年, pp.19-20.

145. 「コンピュータ・ネットワークとイスラーム研究(研究案内：文化の彩り)」板垣雄三(監); 三浦徹, 東長靖, 黒木英充(編)『イスラーム研究ハンドブック』栄光教育文化研究所, 1995年, pp.327-330.
146. 「イラク 国際石油市場に再参入へ」『季刊アラブ』78, 日本アラブ協会, 1996年, p. 15.
147. 「クウェイトの民主主義：クウェイト国民議会の現状」『日本クウェイト協会報』191, 日本クウェイト協会, 1997年, pp.7-9.
148. 「サウディアラビアの民主主義：重層的マジュリス制度」『日本サウディアラビア協会報』191, 日本サウディアラビア協会, pp.17-19.
149. 「過激主義者を生むテレビ説教(特集：原理主義の革命思想)」『季刊アラブ』82, 日本アラブ協会, 1997年, pp.11-13.
150. 「中央アジアが中東・アラビア世界に戻ってきた(特集：湾岸情勢の新視点)」『季刊アラブ』85, 日本アラブ協会, 1998年, pp.6-8.
151. 「世界電子本事情・中東編 デジタル版コーランと海賊版 CD-ROM」『季刊・本とコンピュータ』6, 大日本印刷 ICC 本部, 1998年, pp.164-171.
152. 「アラブ湾岸諸国：強い政府の規制、海外に拠点を持つ反政府勢力(特集：途上国研究とインターネット)」『アジ研ワールド・トレンド』4-12(41), 日本貿易振興会アジア経済研究所, 1998年, pp.4-5.
153. “Digital Publishers and Digital Pirates (Middle East),” Muro Kenji, Nakayama Akio and Jim Vaccaro eds., *Metamorphosis of the Book: Selections from the Book & the Computer*, Dai Nippon Printing Co., 1999, pp.32-36.
154. 「パレスチナ問題の発端は何か」『English Network』17:3, アルク, 1999年, pp.16-17.
155. 「インターネットでアラブ世界を読む(特集：広がる情報通信革命)」『季刊アラブ』89, 日本アラブ協会, 1999年, pp.12-14.
156. 「メディアが対立のかたちを変える」『季刊・本とコンピュータ』大日本印刷 ICC 本部, 2000年, pp.118-119.
157. 「イラクの資源ポテンシャル」『国際資源』309, 国際資源問題研究会, 2000年, pp.7-10.
158. 「アラブ首長国連邦 野心あふるるアラブの詩歌大全 (特集 電子出版をバカにするなかれ) -- (世界電子出版地図)」『季刊・本とコンピュータ』16, 大日本印刷 ICC 本部, 2001年, pp.39-41.
159. 「よみがえるアレキサンドリア図書館」(保坂睦と共著)『季刊・本とコンピュータ』第二期』2号, 大日本印刷 ICC 本部, 2001年, pp.52-57.
160. 「アラブ・メディアからイスラームを読む：デジタル・ジハードが始まっている」『中央公論』117-1(1412), 中央公論新社, 2002年, pp.144-151.

161. 「アラブ・イスラーム圏のウェブサイト選(特集：イスラーム、書物の旅)(アジア読書(2))」『季刊・本とコンピュータ. 第二期』3号, 大日本印刷 ICC 本部, 2002年, pp.153,155.
162. 「アラブメディアが報じた9月11日事件--多様な言論の萌芽もパレスチナ情勢悪化で危機に」『新聞研究』610号, 日本新聞協会, 2002年, pp.52-55.
163. 「公開シンポジウム アラブの基層文化とイスラーム」(堀内勝・福田安志と共著)『イスラーム世界』58号, 2002年, pp.40-62.
164. 「アラブ社会は変わったか?(特集：同時多発テロ1周年)」『季刊アラブ』102号, 日本アラブ協会, 2002年, pp.1-14.
165. 「なぜぼくのWindowsでミニチュア・アリフが打てないのか」『明日の東洋学: 東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター報』東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター, 2002年, pp.4-6.
166. 「シャバーン-ポケモン-マクドナルド(情報技術がイスラーム社会にどう影響を与えたか)」『イスラームを支える技術革新と歴史文化-第2回国際シンポジウム』「イスラームとIT」実行委員会, 2003年, pp.46-55,145.
167. 「イラクとテロとの関わり(イラク問題とは何か)」『イラク戦争を読む』(現代用語の基礎知識 / 自由国民社編 ; スペシャル), 自由国民社, 2003年, pp.12-13.
168. 「イラクの歴史: イラク王国の独立まで(イラク国内)」『イラク戦争を読む』(現代用語の基礎知識 / 自由国民社編 ; スペシャル), 自由国民社, 2003年, pp.26-27.
169. 「サッダーム・フセイン政権の始まり(イラク国内)」『イラク戦争を読む』(現代用語の基礎知識 / 自由国民社編 ; スペシャル), 自由国民社, 2003年, pp.28-29.
170. 「サッダーム・フセイン体制とは(イラク国内)」『イラク戦争を読む』(現代用語の基礎知識 / 自由国民社編 ; スペシャル), 自由国民社, 2003年, pp.30-31.
171. 「イラクの軍事力(イラク国内)」『イラク戦争を読む』(現代用語の基礎知識 / 自由国民社編 ; スペシャル), 自由国民社, 2003年, pp.32-33.
172. 「反体制派の動き(イラク国内)」『イラク戦争を読む』(現代用語の基礎知識 / 自由国民社編 ; スペシャル), 自由国民社, 2003年, pp.34-35.
173. 「スンニー派イスラームの視点(特集: イラク戦争とイスラーム)」『季刊アラブ』105号, 日本アラブ協会, 2003年, pp.6-9.
174. 「オサーマ・ビン・ラーディンの対米ジハード宣言」(文献解題)『現代の中東』35号, 2003年, 日本貿易振興会アジア経済研究所, pp.80-83.
175. 「クウェート/変容する民主主義: 国民議会選挙にみる伝統勢力の衰退(特集: 中東再編成: アメリカとの新たな関係)」『アジア研ワールド・トレンド』9-11(98), 日本貿易振興機構アジア経済研究所研究支援部, pp.26-29.
176. 「O P A Cはどこですか?: 使うものの立場からみたアレキサンドリア図書館」『第3回国際シンポジウム「イスラームとIT」-イスラーム的技術の多様性と可能性』国

- 際シンポジウム「イスラムとIT」実行委員会編, 2004年, pp.120-126.
177. 「社会問題 ビンラディンの軌跡 テロを生み出すイスラム社会の病根--「戦い」が生きがいの「ジハード主義」の若者たち (大型特集 第3次世界大戦勃発?--「勝者」も「終わり」もない不毛 増殖する実相の「イスラーム」--総非難の中でも増え続けるムスリムの教義とは?)」『ビジネス・インテリジェンス』19-9(216), インテリジェンス出版社, 2005年, pp.12-15.
178. 「『サウジアラビア : 変わりゆく石油王国』(執筆ノート)」『三田評論』1084号, 慶應義塾大学, 2005年, p. 63.
179. 「読書空間: 本から時代を読む(6): イスラーム世界を知るために」『論座』136号, 朝日新聞社, 2006年, pp.[322]-325.
180. 「クウェート侵攻、僕の一番長い日(連載: アラブ現代史の証言 10)」『季刊アラブ』122号, 日本アラブ協会, 2007年, p.25.
181. 「研究案内: 道具類: ウェブサイト、電子媒体」小杉泰; 林佳世子; 東長靖(編) 『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会, 2008年, pp.19-27.
182. 「イスラーム急進派(政治、経済、社会)(研究案内)」小杉泰; 林佳世子; 東長靖(編) 『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会, 2008年, pp.315-322.
183. 「サウディアラビア、クウェート、バハレーン、カタル(海外文献調査ガイド)」小杉泰; 林佳世子; 東長靖(編) 『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会, 2008年, pp.544-545.
184. 「読書空間: 『イラク戦争のアメリカ』 ジョージ・パッカー」『論座』158号, 朝日新聞社, 2008年, pp.316-317.
185. 「サウジアラビアの聖と俗」渡邊直樹(責任編集) 『宗教と現代がわかる本 2009』平凡社, 2009年, pp.96-99.
186. 「タカールブ、多様さ容認の潮流(特集: サウジのいま : 政治と経済の安定を模索)」『季刊アラブ』129号, 日本アラブ協会, 2009年, pp.2-4.
187. 「オスマン朝の科学(16世紀): タキー・アッディーン『霊的な機会の崇高な方法』(1551年)、『機械時計製造のための輝かしき星ぼし』(1552年)」歴史学研究会(編) 『世界史史料』2巻(南アジア・イスラーム世界・アフリカ: 18世紀まで) 岩波書店, pp.302-304.
188. 「イギリスとクウェートの秘密協定(1899年)」歴史学研究会(編) 『世界史史料』8巻(帝国主義と各地の抵抗I: 南アジア・中東・アフリカ), 岩波書店, pp.195-196.
189. 「サウジ王政と米石油資本の提携(1930年代)」歴史学研究会(編) 『世界史史料』10巻(20世紀の世界I: ふたつの世界大戦), 岩波書店, pp.304-305.
190. 「北部フーシー派の反乱とサウジ(特集: イエメン全容)」『季刊アラブ』132号, 日本アラブ協会, 2010年, pp.10-11.
191. 「今日のヨーロッパとトルコ間にみる認識と誤解: 宗教の影響から(ディスカッ

- ション・フォーラム)(会議報告 第9回シンポジウム・イスラムとIT: 西欧とイスラム・いま新たな局面)」(ハーカン・ユルマズと共著)『イスラム科学研究』6号, 2010年, pp.156-172.
192. 「真珠の考古学: 文献史の立場から[含 質問](研究会報告: 西アジア地域と海域世界: 広域ネットワークの形成と物資の移動)」『西アジア考古学』11号, 2010年, 日本西アジア考古学会, pp.105-109.
193. 「イスラーム世界と映像メディア(特集: 宗教と映像メディア)」渡邊直樹(責任編集)『宗教と現代がわかる本 2010』平凡社, 2010年, pp.56-61.
194. 「サウジの対シリア外交(特集: アサド王朝の野望)」『季刊アラブ』133号, 日本アラブ協会, 2010年, pp.10-11.
195. 「ラクダ対フェイスブック(エジプト)(総特集: アラブ革命: チュニジア・エジプトから世界へ)」『現代思想』39巻4号, 青土社, 2011年, pp.152-153.
196. 「完結したウサーマ伝説(特集1: ビン・ラーディン後)(特集: 「アラブの春」)」『季刊アラブ』137号, 日本アラブ協会, 2011年, pp.4-5.
197. 「東西南北 世界一高いビル」『青淵』750号, 渋沢栄一記念財団, 2011年, pp.20-22.
198. 「ジハード主義とアラブの春(特集: 激動する中東)」『三田評論』1149号, 慶應義塾, 2011年, pp.34-40.
199. 「サウジで新皇太子誕生」『季刊アラブ』139号, 日本アラブ協会, 2011年, pp.20-21.
200. “Editor's Preface for the Special Feature (Gulf Studies in Japan: New Trend, Perspective, and Approach),” (Koji Horinuki と共著)『イスラーム世界研究』4巻1・2号, 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センター, 2011年, pp.1-2.
201. 「歴史を変えた平手打ち?: ジャスミン革命を動かしたメディア」渡邊直樹(責任編集)『宗教と現代がわかる本 2012』平凡社, 2012年, pp.150-153.
202. 「捕虜になった日本人: 湾岸危機のエピソード(繰り返される戦争と苦難)(コラム 1)」酒井啓子, 吉岡明子, 山尾大(編著)『現代イラクを知るための60章』明石書店, 2013年, pp.73-75.
203. 「国家に支配されたメディア: 新聞・テレビ事情(文化と生活)」酒井啓子, 吉岡明子, 山尾大(編著)『現代イラクを知るための60章』明石書店, 2013年, pp.187-190.
204. 「インターネットと SNS: 膨張する公共空間(文化と生活)(コラム 7)」酒井啓子, 吉岡明子, 山尾大(編著)『現代イラクを知るための60章』明石書店, 2013年, pp.191-192.
205. 「ジハード主義は拡散しているのか(特集: アフリカ テロの深淵)」『季刊アラブ』144号, 日本アラブ協会, 2013年, pp.5-7.

206. 「元祿のミイラ取り」『青淵』771号, 渋沢栄一記念財団, 2013年, pp.24-26.
207. 「湾岸諸国の近代：大国の野心と小首長国の興亡(現代政治の基層と特質)」松本弘(編著)『現代アラブを知るための56章』明石書店, 2013年, pp.131-134.
208. 「湾岸諸国の現代：石油とイスラームと体制の護持(現代政治の基層と特質)」松本弘(編著)『現代アラブを知るための56章』明石書店, 2013年, pp.135-140.
209. 「アブドゥルアジーズ・ビン・アブドゥッラフマーン：沙漠の豹イブン・サウード(現代政治の基層と特質)(コラム10)」松本弘(編著)『現代アラブを知るための56章』明石書店, 2013年, pp.141-142.
210. 「イスラーム過激派とアラブ：現代中東の病巣(世界のなかのアラブ)」松本弘(編著)『現代アラブを知るための56章』明石書店, 2013年, pp.187-192.
211. 「メディアとアラブ：非民主的体制下の公共圏(世界のなかのアラブ)」松本弘(編著)『現代アラブを知るための56章』明石書店, 2013年, pp.193-199.
212. 「解放交渉でキーマン演じた男(特集：新・テロとの戦い)」『季刊アラブ』152号, 日本アラブ協会, 2015年, pp.8-9.
213. 「コラム 国民国家体制を揺るがす、あるいは強化するツールとしてのインターネット」『グローバル戦略課題としての中東ー2030年の見通しと対応』日本国際問題研究所, 2015年, pp.120-121.
214. 「湯川さんの思い出(湯川武先生追悼特集)」『イスラーム地域研究ジャーナル』7号, 早稲田大学イスラーム地域研究機構, 2015年, pp.1-5.
215. 「講演・討論会(日本記者クラブ主催の研究会) イスラーム国をめぐる諸問題 イスラーム国の考え方」(田中浩一郎と共著)『アジア時報』46巻1・2号, アジア調査会, 2015年, pp.4-33.
216. 「東西南北 バスラ紀行」『青淵』812号, 渋沢栄一記念財団, 2016年, pp.24-26.
217. 「演説館 いまサウジアラビアで何が起きているのか」『三田評論』1220号, 慶應義塾, 2018年, pp.56-59.
218. 「中東の国境線(中東基礎知識)」『中東協力センターニュース』42巻12号, 中東協力センター, 2018年, pp.24-26.
219. 「憲法、シャリーア、ファトワー(中東基礎知識)」『中東協力センターニュース』43巻7号, 中東協力センター, 2018年, pp.45-48.
220. 「第8章 経済・産業」(担当編集委員), 鈴木董・近藤二郎・赤堀雅幸(編集代表)『中東・オリエント文化事典』丸善出版, 2020, pp.335-387.
221. 「日本は環境分野の協力を中心に産油国との新たな関係構築を：中東産油国情勢(特集 海事産業・展望2021)」『海運：総合物流情報誌』1120号, 日本海運集会所, 2021年, pp.58-61.
222. 「中東から見たアメリカの政権交代(特集 「トランプ後」のアメリカ)」『三田評論』1252号, 慶應義塾, 2021年, pp.52-58.

223. 「書評と紹介 安達智史著『再帰的近代のアイデンティティ論：ポスト9・11時代におけるイギリスの移民第二世代ムスリム』『イスラム世界』97号, 日本イスラム協会, 2022年, pp.45-57.
224. 「宇宙とイスラーム」国際通貨研究所(編)『イスラーム金融とは何か』小学館, 2024年, pp.188-189
225. 「ガザ情勢と日本」『三田評論』1287号, 慶應義塾, 2024年4月号, pp.58-59

『ニューズウィーク日本版オンライン』連載「イスラームの現在形」シリーズ (2016年3月30日～)

226. 「テロを呼びかけるイスラームのニセ宗教権威」2016年3月30日
227. 「サウジ、IS、イランに共通する「宗教警察」の話」2016年04月26日
228. 「死と隣り合わせの「暴走ドリフト」がサウジで大流行」2016年05月25日
229. 「よみがえった「サウジがポケモンを禁止」報道」2016年06月28日
230. 「中東各国のポケモンGO騒動あれこれ」2016年07月25日
231. 「リオ五輪を(別の意味で)盛り上げてくれた中東の選手たち」2016年08月24日
232. 「「白くない」エミー賞に、アラブの春を思い起こす」2016年09月26日
233. 「イラクがこんな時期に「酒禁止法」可決の謎」2016年10月27日
234. 「テヘランのトイレは小便器なし、シャワーあり」2016年11月25日
235. 「トルコでは七面鳥(ターキー)を「インド人」と呼ぶ」2016年12月26日
236. 「マイケル・ジャクソン=イスラーム改宗説を思い出す」2017年1月24日
237. 「コスプレは規制だらけ、サウジで初のコミコン開催」2017年02月27日
238. 「サウジ国王来日 主婦はほんとに爆買いにしか関心ないんですかね」2017年03月21日
239. 「イスラエルとサウジの接近で思い出す、日本大使館のスパイの話」2017年04月25日
240. 「ISのテロが5月27日からのラマダーン月に起きるかもしれない」2017年05月23日
241. 「「開戦」は5月下旬 けっして突然ではなかったカタール断交」2017年06月07日
242. 「自衛隊「海外派遣」議論のきっかけはフェイクニュースだった」2017年07月28日
243. 「戦隊ヒーロー映画『パワーレンジャー』はイスラエルも守る？」2017年09月04日
244. 「国王が譲位!? 若き皇太子と揺れ動くサウジアラビア」2017年09月29日
245. 「デモ、弾圧、論争、「卵巣に影響」...サウジが女性の運転を解禁するまで」2017

- 年10月25日
246. 「サウジアラビア「要人大量逮捕」は本当に政敵駆逐が目的か」2017年11月27日
247. 「『ボラット』の監督が作った9.11のコメディ『オレの獲物はビンラディン』」2017年12月16日
248. 「「チェスは時間の無駄、金の無駄」のサウジでチェス選手権の謎」2018年01月26日
249. 「サウジ対イラン、中東の新たな対立の構図」2018年01月30日
250. 「泣ける歌 イスラエルで復権した「クウェート人兄弟」」2018年03月30日
251. 「「映画禁止ではなかった」サウジ映画館解禁の伝えられない話」2018年04月27日
252. 「スタバも、スバルも、人種差別主義者なのか？」2018年05月28日
253. 「水を飲めず、MOMも受け取れないロシアW杯選手たち」2018年06月25日
254. 「W杯クロアチア代表にイスラーム教徒らしき選手がいない理由」2018年07月26日
255. 「イラン人には「信仰がない」が、ダンスという文化はある」2018年08月28日
256. 「バーレーンの金メダリストの大半は帰化人だった」2018年09月26日
257. 「ジャマル・カショギがジャマル・ハーショグジーであるべき理由」2018年10月22日
258. 「研究者ですがフェイスブックにアカウントを永久停止されました」2018年11月26日
259. 「中東の沙漠で洪水が頻繁に発生する理由」2018年12月21日
260. 「星占いの源流は中東にある、ラッキーアイテムなどなかった」2019年01月24日
261. 「『ボヘミアン・ラプソディ』ゾロアスター教とフレディの複雑さ」2019年03月25日
262. 「日本で「ツタンカーメンのエンドウ」が広まった理由、調べました」2019年05月22日
263. 「研究者の死後、蔵書はどう処分されるのか」2019年07月10日
264. 「日本製品は安いけれど劣悪、アラビア語の「日本製」は「尻軽女」を意味していた」2019年09月27日
265. 「ディズニー恐るべし、『アラジンと魔法のランプ』は本当は中東じゃないのに」2019年11月27日
266. 「大ヒット曲「イスラエルが嫌い」の歌手が亡くなった」2020年01月20日
267. 「ブティジェッジ、あるいはブー・ダジャージュ、ブッダジャージュ、アブー・ダジャージュ.....に注目する理由」2020年02月07日

268. 「伝えられないサウジ、湾岸、イランの新型コロナ拡大」2020年03月30日
269. 「アラブ世界に黒人はいるか、アラブ人は「何色」か、イスラーム教徒は差別しないのか」2020年07月22日
270. 「イスラエル人女優が「クレオパトラ」役、でもホワイトウォッシングとは言えない？」2020年11月05日
271. 「「アラビアのロレンス」より中東で活躍したジャック・フィルビーと、スパイ小説の巨匠ジョン・ル・カレをつなぐ線」2020年12月25日
272. 「トルコ宗務庁がトルコの有名なお土産「ナザール・ボンジュウ」を許されないとした理由」2021年02月25日
273. 「日本人が知らない、社会問題を笑い飛ばすサウジの過激番組『ターシュ・マー・ターシュ』」2021年06月02日
274. 「中東専門家が見た東京五輪、イスラエル vs イスラーム諸国」2021年08月16日
275. 「研究者の死後、蔵書はどう処分されるのか——の、3つの後日談」2022年07月28日
276. 「アントニオ猪木、歴史に埋もれたイラクでの「発言」」2022年11月14日
277. 「「開発独裁が効率的」「脱炭素も進む」...中東の「民主国」クウェートで何が起きているのか」2024年07月17日

『日経ビジネス・オンライン版』連載「世界展望プロの目」

278. 「勢力図が変わる?! 米軍はシリア撤退、アサド勝利か 激動の中東、2019年の展望」2019年1月24日
279. 「カルロス・ゴーンを大統領に本気で推すレバノンの声」2019年2月22日
280. 「記者殺害で批判浴びるサウジ皇太子を日本は受け入れる？」2019年3月27日
281. 「ゴラン高原のイスラエル主権承認は北方領土問題に禍根」2019年4月3日
282. 「東西に割れるリビア、全国民の心つかむ英雄は再来するか」2019年4月30日
283. 「テロリストは貧困層でなければならないのか？」2019年5月22日
284. 「安倍首相が訪イラン前に無名のサウジ国務相と会った理由」2019年6月21日
285. 「イランの“テロ組織”が筆者に接触してきたときのこと」2019年8月7日
286. 「ペルシャ湾だけではない、アラビア半島に渦巻く奇々怪々」2019年9月6日
287. 「サウジ石油施設攻撃、非難応酬の裏で進む戦争回避」2019年9月26日
288. 「預言者の曾祖父の家系を名乗る IS 新指導者は一体誰なのか」2019年11月27日
289. 「イラクに捕らわれた日本人人質を解放した中曽根元首相と安倍外交」2019年12月27日
290. 「中東の隠れた要石、オマーンに学べ！」2020年1月31日

291. 「コロナと黒死病の共通点、モンゴル帝国の大陸統一とベネチアの隔離」2020年3月18日
292. 「サウジの苦難、ウイルスと油価下落と聖地守護の方程式」2020年6月2日
293. 「サウジ・イラン・トルコ、新型コロナ危機と中東三国志」2020年7月17日
294. 「イラクのクウェート侵攻から30年、人質経験の思い出」2020年8月5日
295. 「クウェートの首長死去、東日本大震災義援金の4割は同国からだった」2020年10月6日
296. 「イスラエル首相のサウジ電撃訪問が意味するもの」2020年11月25日
297. 「バイデン政権の対中東政策、イラン、イスラエル、サウジはどうなる」2020年11月26日
298. 「コロナワクチンはイスラム教の禁忌に触れるのか？」2021年1月5日
299. 「石油時代の終わりを予言したサウジの名物石油相逝く」2021年3月3日
300. 「20世紀の知の巨人フーコーに小児性愛と白い帝国主義者の疑惑」2021年4月9日
301. 「バイデン外交が再編促す？「中東新三国志」の対立の構図」2021年5月14日
302. 「シリアのアサドが得票率95%で4選、イラクのフセインはかつて100%」2021年6月9日
303. 「実は呉越同舟だった?! サウジとUAEの不和が湾岸の新たな震源に」2021年8月5日
304. 「タリバンの「勝利」にアルカイダが沈黙している理由」2021年8月30日
305. 「内憂外患のタリバンを苦しめるISのテロ攻撃」2021年11月1日
306. 「テレビタレント出身大臣の舌禍で湾岸諸国の怒り買い窮地のレバノン」2021年11月16日
307. 「サウジ、1億人を擁するムスリム団体と対立することの是非」2022年1月19日
308. 「ウクライナ侵攻に揺れる中東 “親米国”でもロシアに及び腰のなぜ」2022年3月8日
309. 「ムスリム諸国のLGBTQ事情、戒律は禁じていても…」2022年6月23日
310. 「戒律順守に厳格なサウジが政府主催でハロウィーンの仮装」2022年11月8日
311. 「W杯はいよいよ準決勝、ところでサッカーはイスラム法違反か?!」2022年12月13日
312. 「第1次石油危機から50年、今こそその教訓を再び学ぶとき」2023年10月6日
313. 「モスクワで130人が死亡するテロ事件 イスラム国が改めて存在感」2024年3月号8日
314. 「サウジの聖地巡礼、酷暑で1000人超が死亡か 安全確保は王家の責任」2024年7月9日

日本原子力文化財団『原子力文化』連載「中東万華鏡」シリーズ（2016年4月号～2024年3月号）

- 315. (第1回)「越後七不思議」2016年4月号
- 316. (第2回)「越後七不思議－火井－」2016年5月号
- 317. (第3回)「土耳古めしの話」2016年6月号
- 318. (第4回)「ラクダの話」2016年7月号
- 319. (第5回)「チェスの話（前）」2016年8月号
- 320. (第6回)「チェスの話（後）」2016年9月号
- 321. (第7回)「文明の衝突に翻弄される中東の女性たち」2016年10月号
- 322. (第8回)「ツタンカーメンのエンドウ豆」2016年11月号
- 323. (第9回)「沖縄と中東世界」2016年12月号
- 324. (第10回)「天平のペルシア人」2017年1月号
- 325. (第11回)「ペルシア湾の真珠採取と日本」2017年2月号
- 326. (第12回)「泉鏡花と千夜一夜物語」2017年3月号
- 327. (第13回)「ソレイマーンの船（前篇）」2017年4月号
- 328. (第14回)「ソレイマーンの船（後篇）」2017年5月号
- 329. (第15回)「ナツメヤシの話」2017年6月号
- 330. (第16回)「ラマダーン月について」2017年7月号
- 331. (第17回)「ゲルギーアーンのこと」2017年8月号
- 332. (第18回)「人面樹の謎」2017年9月号
- 333. (第19回)「奴隷から女王へ：悲劇の女性スルターン」2017年10月号
- 334. (第20回)「ペトロ・カスイ岐部」2017年11月号
- 335. (第21回)「福澤諭吉の見たエジプト」2017年12月号
- 336. (第22回)「中国のキリン」2018年1月号
- 337. (第23回)「サマルカンドのキリン」2018年2月号
- 338. (第24回)「割礼と暦」2018年3月号
- 339. (第25回)「雨降らしの石（1）」2018年4月号
- 340. (第26回)「雨降らしの石（2）」2018年5月号
- 341. (第27回)「コーヒーの歴史（1）」2018年6月号
- 342. (第28回)「コーヒーの歴史（2）」2018年7月号
- 343. (第29回)「コーヒーの歴史（3）」2018年8月号
- 344. (第30回)「織田信長の家来はイスラーム教徒？」2018年9月号
- 345. (第31回)「サウジアラビアの一番長い日」2018年10月号
- 346. (第32回)「イチジクの話」2018年11月号
- 347. (第33回)「日本にやってきたイスラーム教徒」2018年12月号
- 348. (第34回)「ザクロの話」2019年1月号

349. (第35回)「アラジンと魔法のランプ」2019年2月号
350. (第36回)「天竺聖とその息子、楠葉西忍」2019年3月号
351. (第37回)「日本にやってきた象」2019年4月号
352. (第38回)「ヨーグルトの話」2019年5月号
353. (第39回)「チューリップ」2019年6月号
354. (第40回)「ミイラ取りがミイラになる(1)」2019年7月号
355. (第41回)「ミイラ取りがミイラになる(2)」2019年8月号
356. (第42回)「ミイラ取りがミイラになる(3)」2019年9月号
357. (第43回)「ミイラ取りがミイラになる(4)」2019年10月号
358. (第44回)「モロヘイヤの話」2019年11月号
359. (第45回)「ピスタチオの話」2019年12月号
360. (第46回)「伊東忠太とイスラーム」2020年1月号
361. (第47回)「日本にいたオマーン国王」2020年2月号
362. (第48回)「パンとコメー二つの「命」」2020年3月号
363. (第49回)「ドラキュラ伝説」2020年4月号
364. (第50回)「日本とイエメン」2020年5月号
365. (第51回)「中東の黒死病」2020年6月号
366. (第52回)「中東の黒死病」2020年7月号
367. (第53回)「乳香の話」2020年8月号
368. (第54回)「不死鳥伝説(1)」2020年9月号
369. (第55回)「不死鳥伝説(2)」2020年10月号
370. (第56回)「中東放屁譚」2020年11月号
371. (第57回)「昭和天皇と中東—イエメン篇」2020年12月号
372. (第58回)「昭和天皇と中東—エジプト篇」2021年1月号
373. (第59回)「パレスチナ問題の象徴」2021年2月号
374. (第60回)「パレスチナの象徴とスズキ」2021年3月号
375. (第61回)「半分人間ニスナース」2021年4月号
376. (第62回)「単眼巨人テペギョズ」2021年5月号
377. (第63回)「アラビア馬(一)」2021年6月号
378. (第64回)「アラビア馬(二)」2021年7月号
379. (第65回)「アラビア馬(三)」2021年8月号
380. (第66回)「アラビア馬(四)」2021年9月号
381. (第67回)「復讐の梟」2021年10月号
382. (第68回)「詩人オマル・ハイヤームのこと」2021年11月号
383. (第69回)「中東から石油を輸入して一世紀」2021年12月号
384. (第70回)「山の老人」2022年1月号

- 385. (第71回)「海の老人とダヴァール・パー」2022年2月号
- 386. (第72回)「焼酎とアラク」2022年3月号
- 387. (第73回)「薔薇水と蒸留」2022年4月号
- 388. (第74回)「ビールと中東」2022年5月号
- 389. (第75回)「オオイヌノフグリ」2022年6月号
- 390. (第76回)「舞い上がり、舞い降りる鷺」2022年7月号
- 391. (第77回)「覆面の預言者(1)」2022年8月号
- 392. (第78回)「覆面の預言者(2)」2022年9月号
- 393. (第79回)「時を測る」2022年10月号
- 394. (第80回)「時を測る(2)」2022年11月号
- 395. (第81回)「時を測る(3)」2022年12月号
- 396. (第82回)「風の名前」2023年1月号
- 397. (第83回)「イランのおこげ」2023年2月号
- 398. (第84回)「沙漠の雨」2023年3月号
- 399. (第85回)「ユダヤの偽救世主 シャベタイ・ツヴィ(1)」2023年4月号
- 400. (第86回)「ユダヤの偽救世主 シャベタイ・ツヴィ(2)」2023年5月号
- 401. (第87回)「ユダヤの偽救世主 シャベタイ・ツヴィ(3)」2023年6月号
- 402. (第88回)「ヘンナの話」2023年7月号
- 403. (第89回)「イスラームと歯ブラシのこと」2023年8月号
- 404. (第90回)「度量衡と宗教警察」2023年9月号
- 405. (第91回)「風の塔」2023年10月号
- 406. (第92回)「アイスクリームのコーンと中東」2023年11月号
- 407. (第93回)「甘い話」2023年12月号
- 408. (第94回)「テヘランのコカ・コーラ」2024年1月号
- 409. (第95回)「ラクダと話す」2024年2月号
- 410. (第96回)「人面馬身とイスラームの聖地」2024年3月号

◇ シンポジウム講演等

「イスラームの怪異」日本中東学会第28回年次大会公開講演会（於東洋大学），2012年5月12日

「言説としての十字軍」日本中東学会第34回年次大会公開講演会（於上智大学），2018年5月12日

「中東の資源をめぐる日本の外交と中東研究」日本中東学会第35回年次大会公開講演会（於秋田大学），2019年5月11日

「9.11事件から20年—日本にとって9.11事件とは何だったのか？」日本中東学会第37回年次大会公開講演会（於立命館大学），2021年5月15日

“The Crisis and Beyond: Japan's Perception of Radical Islam,” East Asia Summit Symposium, April 16, 2015 (Singapore)

“Asia and the GCC: A Deepening Partnership,” Doha Forum, December 10, 2023.

◇ **メディア出演**

- ・ クローズアップ現代、NHK 特集、日曜討論、視点論点(以上 NHK)、報道特集(TBS)、報道ステーション (テレビ朝日) 等多数

以上